

2013年11月5日
株式会社日本レースプロモーション

2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第7戦

鈴鹿サーキット大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション（代表取締役社長 白井 裕、所在地：東京都千代田区）は、11月9日（土）～10日（日）の2日間、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催される「2013年全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦鈴鹿サーキット」について選手権概要を発表する。

シリーズ最終戦の本大会は2レース制で行われ、予選は従来同様のノックアウト方式（*P4「公式ノックアウト予選」の項ご参照）で行われる。レース1のグリッドはQ1の結果で決定し、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（1周5,807m）を20周、トータル116.14kmで争われる。またレース2のグリッドはQ3までの結果で決定し、同レーシングコースを28周、トータル162.60kmで争われるとともに、タイヤ交換（4輪同時）のためのピットインが1回義務付けられている。

今シーズンも最終戦を迎え、年間チャンピオン・タイトルの行方に注目が集まる。第6戦終了時点の順位は、第2戦、第3戦で優勝を飾り、今季出場したすべてのレースで確実に表彰台を獲得しているアンドレ・ロッチェラー（ペトロナス・チーム・トムス）が、トータル37ポイントを挙げランキングトップの位置にいるものの、今大会は欠場のため、これ以上のポイント獲得が望めない。-6ポイントで2番手に続くロイック・デュバル（キグナス スノコ チーム ルマン）もまた、今大会を欠場するため、チャンピオン獲得の可能性はない。唯一ロッチェラーを逆転し、チャンピオンを獲得できる可能性があるのは、-13ポイントで3番手につけている山本尚貴（チーム 無限）のみとなっている。2レース制の今大会の場合は、選手権ポイントが1レース制の場合と異なり、半分となるが（*P3「選手権ポイント」の項ご参照）、それぞれのレースの勝者にはボーナスポイントが与えられ、2つのレースでポールトゥウインを行った場合、最大18ポイントを獲得することができるため、山本にもチャンピオン獲得の可能性が残っている。

また4番手には-21ポイントで中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）、松田次生（レノボ チーム インパル）、J.P.デ・オリベイラ（レノボ チーム インパル）の3名が並んでおり、こちらのポイント争いも白熱が予想される。

さらに、今季は開幕戦、第6戦の2レースにスポット参戦をし、話題を集めている佐藤琢磨（チーム 無限）が今大会も参戦。第6戦では予選Q3まで進む活躍を見せたものの、惜しくも決勝ではリタイヤとなったが、本大会でその雪辱を果たせるかが注目される。



第6戦終了時点でのポイントリーダー #2アンドレ・ロッチェラー（ペトロナス・チーム・トムス）

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

J SPORTS **熱** NINKI-ICHI 人気酒造

2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第7戦 エントリーリスト

(シャーシ：SF13、タイヤ：ブリヂストン)

No.	ドライバー	年齢 出身	チーム 監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	PETRONAS TEAM TOM'S ペトロナス・チーム・トムス 館 信秀	TOYOTA RV8K
2	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス		
3	安田 裕信 Hironobu Yasuda	1982.11.11 日本 滋賀県	KONDO RACING コンドー レーシング 近藤 真彦	TOYOTA RV8K
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans キグナス スノコ チーム ルマン 土沼 広芳	TOYOTA RV8K
8	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli	1990.2.14 イタリア		
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	HP REAL RACING エイチピー リアル レーシング 金石 勝智	HONDA HR12E
11	中山 友貴 Yuhki Nakayama	1987.7.29 日本 石川県		
15	佐藤 琢磨 Takuma Sato	1977.1.28 日本 東京都	TEAM 無限 チーム 無限 手塚 長孝	HONDA HR12E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県		
18	リチャード・ブラッドレー Richard Bradley	1991.8.17 イギリス	KCMG ケーシーエムジー 土居 隆二	TOYOTA RV8K
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL レノボ チーム インパル 星野 一義	TOYOTA RV8K
20	松田 次生 Tsugio Matsuda	1979.6.18 日本 三重県		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本 愛知県	NAKAJIMA RACING ナカジマ レーシング 中嶋 悟	HONDA HR12E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県		
38	平手 晃平 Kohei Hirate	1986.3.24 日本 愛知県	P.MU/CERUMO INGING プロムュー/セルモ・インギング 立川 祐路	TOYOTA RV8K
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県		
40	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都	DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドコモ チーム ダンデライオン レーシング 村岡 潔	HONDA HR12E
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	1982.10.6 日本 東京都		
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	1983.4.25 日本 愛知県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports トチギル・ボーセ モータースポーツ 坪松 唯夫	TOYOTA RV8K

Series Partner

HONDA **TOYOTA**

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

J SPORTS

一 NINKI-ICHI
人気酒造

第6戦終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/14	6/2	7/14	8/4	8/25	9/29	11/10	11/10
					SUZUKA	AUTOPOLIS	FUJI	MOTEGI	INJE	SUGO	SUZUKA	SUZUKA
					Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	2	アンドレ・ロツテラー	37		-	11	10	8		8		
2	8	ロイック・デュバル	31	-6	-	8	6	6		11		
3	16	山本尚貴	24	-13	5	6	6	1		6		
4	1	中嶋一貴	16	-21	4	0	1	11		0		
4	20	松田次生	16	-21	8	4	0	0		4		
4	19	J.P.デ・オリベイラ	16	-21	3	5	3	5		0		
7	40	伊沢拓也	15	-22	11	0	4	0		0		
8	32	小暮卓史	11	-26	6	0	0	4		1		
9	39	国本雄資	10	-27	0	0	2	3		5		
10	38	平手晃平	8	-29	0	0	8	0		0		
11	7	平川亮	5	-32	1	2	0	2		0		
12	3	安田裕信	3	-34	0	0	0	0		3		
12	10	塚越広大	3	-34	0	3	0	0		0		
14	31	中嶋大祐	2	-35	0	0	0	0		2		
14	8	アンドレア・カルダレッリ	2	-35	2	-	-	-		-		
16	11	中山友貴	1	-36	0	1	0	0		0		
	62	嵯峨宏紀	0	-37	0	0	0	0		0		
	41	武藤英紀	0	-37	0	0	0	0		0		
	15	佐藤琢磨	0	-37	0	-	-	-		0		
	18	リチャード・ブラッドレー	0	-37	0	0	0	0		0		
	2	ジェームス・ロシター	0	-37	0	-	-	-		-		
	15	小林崇志	0	-37	-	0	0	0		-		

※斜体は優勝、太字はP.P.

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/14	6/2	7/14	8/4	8/25	9/29	11/10	11/10
					SUZUKA	AUTOPOLIS	FUJI	MOTEGI	INJE	SUGO	SUZUKA	SUZUKA
					Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	1,2	PETRONAS TEAM TOM'S	51		4	10	11	18		8		
2	7,8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	36	-15	3	10	5	8		10		
3	19,20	Lenovo TEAM IMPUL	32	-19	11	9	3	5		4		
4	15,16	TEAM 無限	24	-27	5	6	6	1		6		
5	38,39	Project μ /cerumo・INGING	18	-33	0	0	10	3	中	5		
6	40,41	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14	-37	10	0	4	0		0		
7	31,32	NAKAJIMA RACING	13	-38	6	0	0	4		3		
8	10,11	HP REAL RACING	4	-47	0	4	0	0	止	0		
9	3	KONDO RACING	3	-48	0	0	0	0		3		
	62	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	0	-51	0	0	0	0		0		
	18	KCMG	0	-51	0	0	0	0		0		

※斜体は優勝、P.P.ポイントはドライバーズのみ

Series Partner

HONDA **TOYOTA**

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

J SPORTS

銘 NINKI-ICHI
人気酒造

2013年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

* 1大会2レース制に限り、第1レース、第2レースの優勝者に通常ポイントとは別途3ポイントが付与される。

* PP：ポールポジション（予選1位）には1ポイント付与される。

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、日本レースプロモーションより賞金と、シリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。また年間チャンピオンチームには日本レースプロモーションより賞金と、経済産業省より経済産業大臣杯が交付される。

3. レース車両

シャシーは米国スウィフト・エンジニアリング社製のSF13。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量3,400cc、V型8気筒自然吸気エンジン、HONDA HR12EまたはTOYOTA RV8Kを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイク。

4. オーバーテイクシステム

ステアリングにあるボタンを押すと、20秒間エンジン回転数がアップし加速力が加わる。このシステムは決勝レース中5回まで使用することが可能で、追い越しなどを容易にする。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リールズレッド）を装着している。これはスーパーフォーミュラ独特の仕組み。

5. 公式予選（ノックアウト方式）

- ・ノックアウト方式：Q1、2、3の計3回の予選を行い決勝レースのスタートグリッドを決定する。19台エントリーの場合：Q1（20分間）で全車走行し、15位から19位のスタートグリッドを決定。勝ち残った14台でQ2（7分間）を行い9位から14位を決定。上位8台がQ3（7分間）へ進出し、トップ8のグリッドを決定する。
- ・スペシャルステージ方式：1台ずつがアタックし、そのタイム順にグリッドを決定する。

2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド	サーキット
4 / 13～14	第1戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
6 / 1～2	第2戦 オートポリス	オートポリス
7 / 13～14	第3戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
8 / 3～4	第4戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
8 / 24～25	第5戦 インジェ（大韓民国） 中止	インジェ インターナショナル サーキット
9 / 28～29	第6戦 スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
11 / 9～10	第7戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
11 / 22～24	特別戦 FUJI SPRINT CUP 2013	富士スピードウェイ

Series Partner

HONDA **TOYOTA**

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

J SPORTS **人 NINKI-ICHI 人気酒造**

大会概要

- 大会名称：2013年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第7戦 鈴鹿サーキット
- 同日開催：2013年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン (FCJ) 第10戦、第11戦、第12戦
2013 MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race 第5戦
- 開催日：2013年11月9日(土)～10日(日)
予選スタート 11/9(土) 14:00～
レース1決勝スタート11/10(日) 10:20～(20周)
レース2決勝スタート11/10(日) 14:30～(28周)
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)
レース1決勝レース距離：5.807km/1周×20周=116.14km
レース2決勝レース距離：5.807km/1周×28周=162.60km
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定：株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援：三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所

チケット購入/お問い合わせ

- 前売観戦券(2日間有効) *11月8日(金)も入場可
大人 ¥3,900(ゆうえんちモートピアパスポート1日付)
中・高校生 ¥1,600(入場のみ)
*観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp/>)をご参照ください。

TV放映予定

- 「J SPORTS 1」:全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリピート放送やレースダイジェスト番組も放送。
*リピート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformula.net/>)
またはJ SPORTSホームページ(http://www.jsports.co.jp/program_guide/month/japanese/c_month14.html)にてご確認ください。
- 「BSフジ」:大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。
11月16日(土) 15時00分～15時55分 再放送11月17日(日) 13時00分～13時55分
*放送日、放送時間はスーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformula.net/>)をご確認ください。
- YAHOO! GyaO!:大会終了14日後24:00よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド(<http://gyao.yahoo.co.jp/>)にて配信。
*放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformula.net/>)で
ご確認ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
e-mail: media@superformula.net
Tel: 03-3237-0131 Fax: 03-3237-0135
担当: 遠藤 清人 携帯電話: 090-3401-8112 e-mail: media@jrp-inc.jp